

実務経歴証明書記入例（③：建築物の指導監督に関する場合）

第一号の三書式（第1条の5関係）（A4）

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

国土交通大臣
中央指定登録機関 殿
公益社団法人日本建築士会連合会

〇〇株式会社

証明者 登録 太郎

〇〇県知事登録 第〇〇号

〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 〇〇株式会社 〇〇部 〇〇課 免許一郎

免許申請者との関係 申請者が所属する建築士
事務所の所属建築士

下記の者が申請した一級建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 建築 士郎

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

建築実務の内容：

- ・住宅瑕疵担保責任保険の検査業務において、木造・鉄骨・鉄筋コンクリート造の住宅について、所定の項目に関する現場検査の補助を担当。（約〇件）
- ・図書館（鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積約3,000㎡）の建築工事において、設計図書どおりに施工されているか等、建築主からの依頼により第三者の立場から指導監督を行った。

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。